

2.経営比率分析 (2)生産性分析

【発展会計月次レポート】
提供： 会計事務所

平成18年5月

生産性分析

売上高の投入高に対する割合をいい、企業の経営分析の中で、収益性分析を補足するものである。
その特色は、収益性分析においては投入高を「資本」としていたのに対して、生産性分析ではこれを「人」または「もの」としている点がある。生産性が向上すれば人件費や諸経費の増加を吸収することが出来る。

生産性をみるために確認する指標

分析指標	算式	利用目的
限界利益率	$\frac{\text{限界利益}}{\text{売上高}}$	売上高に対する原価効率をみる
1人当たり売上高	$\frac{\text{売上高}}{\text{社員数}}$	社員1人当たりの生産性をみる
1人当たり限界利益	$\frac{\text{限界利益}}{\text{社員数}}$	社員1人当たりの生産効率をみる
1人当たり人件費	$\frac{\text{人件費}}{\text{社員数}}$	社員1人当たりの人件費水準をみる
労働分配率	$\frac{\text{人件費}}{\text{限界利益}}$	社員の生産効率に対する人件費のバランスをみる

業界平均値との比較

経営指標	当期累計	業界平均	ランク
限界利益率	94.5%	83.5%	A
1人当たり売上高	1,125,618	674,000	A
1人当たり限界利益	1,067,072	622,000	A
1人当たり人件費	543,514	382,000	A
労働分配率	50.9%	61.4%	A

ランク： A=優良 B=普通 C=低い

業界優良企業との比較

経営指標	優良企業	差異	ランク
限界利益率	92.3%	2.2%	A
1人当たり売上高	874,000	251,618	A
1人当たり限界利益	729,000	338,072	A
1人当たり人件費	431,000	112,514	A
労働分配率	59.2%	-8.3%	A

ランク： A=優良 B=普通 C=低い